

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	2	学年	2年	類型	ビジネスコース
教科書	ビジネス基礎 新訂版（実教出版）			副教材	ビジネス基礎 問題集（実教出版）				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				①	②	③	④		
1 学期	4	第1章 商業の学習ガイダンス	1 21世紀にはばたく	①ビジネスの世界で活躍 ②ビジネスに必要な心構え	○		◎	○	<p>学習のねらい</p> <p>商業を学ぶ目的や心構えなど学習に対する動機づけを行うとともに、卒業後の進路について意識の高揚を図ります。</p> <p>売買活動おける様々な計算に関する基礎的な知識と技術を身に付け、電卓を用いた確かな計算処理できる能力を身に付けます。</p> <p>ビジネスと経済の関係やビジネスの役割など基礎的・基本的な内容を学ぶとともに、職業人として必要なビジネスマナーを習得します。</p> <p>学習の目標</p> <p>ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得し、経済社会で生きていく力を身に付ける。</p> <p>経済社会の一員としての心構えを持ち、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を養う。</p>
			2 しっかり楽しく学んでいこう	①学習内容のアウトライン ②どのように学んでいけばよいか	○		◎	○	
	5	第6章 売買に関する計算	1 売買に関する計算の基礎（Ⅰ）	①割合 ②商品の数量と代価 ③仕入原価と売買		○	◎	○	
			2 売買に関する計算の応用（Ⅰ）	①度量衡の換算 ②外国貨幣の換算 ③利息の計算		○	◎	○	
				①普通計算問題3級 ②ビジネス計算問題3級	○		◎	○	
	6		3 総合練習問題（Ⅰ）	①普通計算問題3級 ②ビジネス計算問題3級	○		◎	○	
			①普通計算問題3級 ②ビジネス計算問題3級	○		◎	○		
	7		期末考査		○	○	◎	◎	
			①普通計算問題3級 ②ビジネス計算問題3級	○		◎	○		
	2 学期	8							
9		第2章 経済と流通の基礎	1 経済のしくみとビジネス	①私たちの生活と経済 ②経済をささえるビジネス ③経済活動の基本的な考え	○	◎			
			2 社会の変化とビジネスの発展	①サービス経済化とビジネス ②情報化とビジネス ③グローバル化とビジネス ④ビジネスの課題とビジネスチャンス	○	◎			
			3 経済活動と流通	①流通の意味 ②流通の役割 ③流通機構 ④流通をとりまく環境の変化	○			◎	
10		第3章 ビジネスの担い手	1 ものの生産者	①ものの生産者の役割 ②ものの生産者の種類 ③ものの生産者のビジネス ④ものの生産者の動向	○			◎	
			2 サービスの生産者	①サービスの生産者の役割 ②サービスの生産者の種類 ③サービスの生産者のビジネス ④サービスの生産者の動向	○			◎	
			3 小売業	①小売業の役割 ②小売業の種類 ③小売業のビジネス ④小売業の動向	○	○	○	◎	
11			①サービスの生産者の役割 ②サービスの生産者の種類	○			◎	○	
			③サービスの生産者のビジネス ④サービスの生産者の動向	○		◎	○		
12			期末考査		○	○	○	◎	
	③小売業のビジネス ④小売業の動向				◎	○			
3 学期	1	4 卸売業者	①卸売業の役割 ②卸売業の種類	○			◎		
			③卸売業のビジネス ④卸売業の動向			◎	○		
			①物流業の役割 ②物流業の種類	○			◎		
			③物流業のビジネス ④物流業の動向			◎	○		
	2	5 物流業者	①金融業の役割	○			◎		
			②金融業の種類	○			◎		
	3		③金融業のビジネス ④金融業の動向			◎	○		
			②金融業の種類	○			◎		
		③金融業のビジネス ④金融業の動向			◎	○			
		②金融業の種類	○			◎			
		③金融業のビジネス ④金融業の動向			◎	○			
		②金融業の種類	○			◎			

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：技能 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

【科目の特色】

- 身近な消費生活に興味・関心を持ち、常に新聞や雑誌、ニュースなどから情報を収集する習慣を身に付けることが、広い視野と社会の変化に柔軟に対応できる能力を作り上げることにつながります。
- 計算問題を解けば解くほど、計算能力の技能が向上します。家庭での学習習慣を身に付けましょう。

【授業】

- ビジネス基礎の授業は週に2時間あります。
- ビジネスに対する心構えやマナーを、授業の中でしっかりと身に付けること。まず、挨拶や言葉遣い、授業のルールを守るといった基本的なことから心がけることが大切です。
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ① ビジネスマナーの練習を行います。
 - ② 電卓計算問題演習を行います。
 - ③ 教科書の内容を確認して、要点を整理します。
- 覚えた語句を用いて問題を解くことが基本です → 教科書・ノートで確認しやすくしておくことが大切です。
- ノートは、板書に加えて、口頭で示された重要ポイントも記しておくこと、復習する時に役立ちます。

【家庭学習】

- 授業時間内に理解します。後で確認しようなどとは思わず、その時間内で理解し、必要なことは覚えましょう。
- ビジネス基礎の家庭学習は、復習を基本とします。授業で学習した内容は、その日のうちに復習してください。
- 当たり前のことですが、問題集、レポート、感想文などの課題は必ず提出すること。

【定期考査】

- 語句の意味、表記などを正確に覚えることが基本になります。
- 電卓を用いた計算問題で技能を測ります。継続は力なりです。毎日の地道な練習を大事にしてください。
- ビジネス計算問題を解答するためには、問題を読む力と思考力が必要です。普段から粘り強く取り組む姿勢を身に付けましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解の四つの観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の基準	1 学期	期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2 学期	期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均、並びに検定試験の結果を加味します。